

こどもエコフェスタ、開催!



昨年(2014)の9月28日(日)、「第5回にいみエコフェスタ」が正田憩いとふれあいの公園内屋内ゲートボール場で行われました。

今回は「こどもエコフェスタ」と銘打っての開催。出演者やスタッフとして子どもたちが大活躍しました。

司会の小郷浩隆君(新見高校2年)の第一声で幕を開け、環境ポスターの表彰や名称募集していたキャラクター名の発表がありました。続いて生田唯人君(思誠小1年)がドラムをつとめるB.B.musicの演奏と楽器別の音色を教えてもらうコーナーがあり、バンドをやってみたいという子どもたちの興味を集めていました。杉原先生の環境紙芝居、恒例となった井倉民謡会の踊り、横見歩海さん(思誠小3年)とお父さんによる環境クイズ、エコバンドの演奏等、ステージで行われた演

目はどれも大いに盛り上がりました。

会場のブースでは、環境ポスターの展示や、各学校の自然保護活動のパネル展示や、栄



養委員さんによる食育ゲームコーナー、子どもセンターさんによる新聞でつくるマイバッグのコーナー、市民環境会議のクラフトコーナー、フリーマーケット等ありました。中でも、環境保全協会のゴミ分別クイズ、発電自転車のコーナーにはたくさんの人が集まりました。

また、共生高校のインターアクトクラブのメンバーが着ぐるみで現れ、たくさんの子どもたちを楽しませてくれました。

たくさんのボランティアの方々のおかげで、大成功の「こどもエコフェスタ」となり、来場者数も前回の3倍以上の方々に来て頂きました。



年々と環境に対する一人一人の思いが強くなってきていることを実感しました。

「下」水道環境フォーラムin倉敷に参加

10月29日(水)、倉敷市の倉敷アイビースクエアで、「人と自然のハーモニー～やすらぎと憩いのある倉敷川をめざして」というテーマで開催された「下水道環境フォーラムin倉敷」に参加しました。

倉敷川の源流、高梁川の源流地域に住む私たち、討論会や講演会を通して、水環境保全には下水道整備が必要なこと、環境学習などで地域の意識向上を図ることが大切なことを学び、「水は、感謝の気持ち(ありがとう)をもつことできれいになる。」との発言には感動を覚えました。

私たちが使った水は、処理されて下流地域での水源となります。ぜひ下流地域に安全な良い水を届けたいものです。



編集後記

みなさん、お久しぶりのエコライフにいみです。「にいみこどもエコフェスタ」や「キャンドルナイトin新見」には非常に多くの方にお越しいただき、ありがとうございました。

ところで、環境で今一番注目されているのが地球温暖化。これを防止しようという運動として、最近見かけるのが「うちエコ」という言葉。衣食住のちょっとした工夫で省エネをしよう、環境を守ろうというものです。1枚上着を増やしたり、一家団らんお鍋の夕食、電化製品はこまめに電源オフなど、これらもちょっとした「うちエコ」ですよ。ぜひ皆さんお試しください。

皆さんも市民環境会議に参加してみませんか? お問い合わせはホームページかメールにて。

ホームページURL
<http://niimikankyo.web.fc2.com/>
 メールアドレス: niimi.kankyo@gmail.com



▲「エコ」もくん